

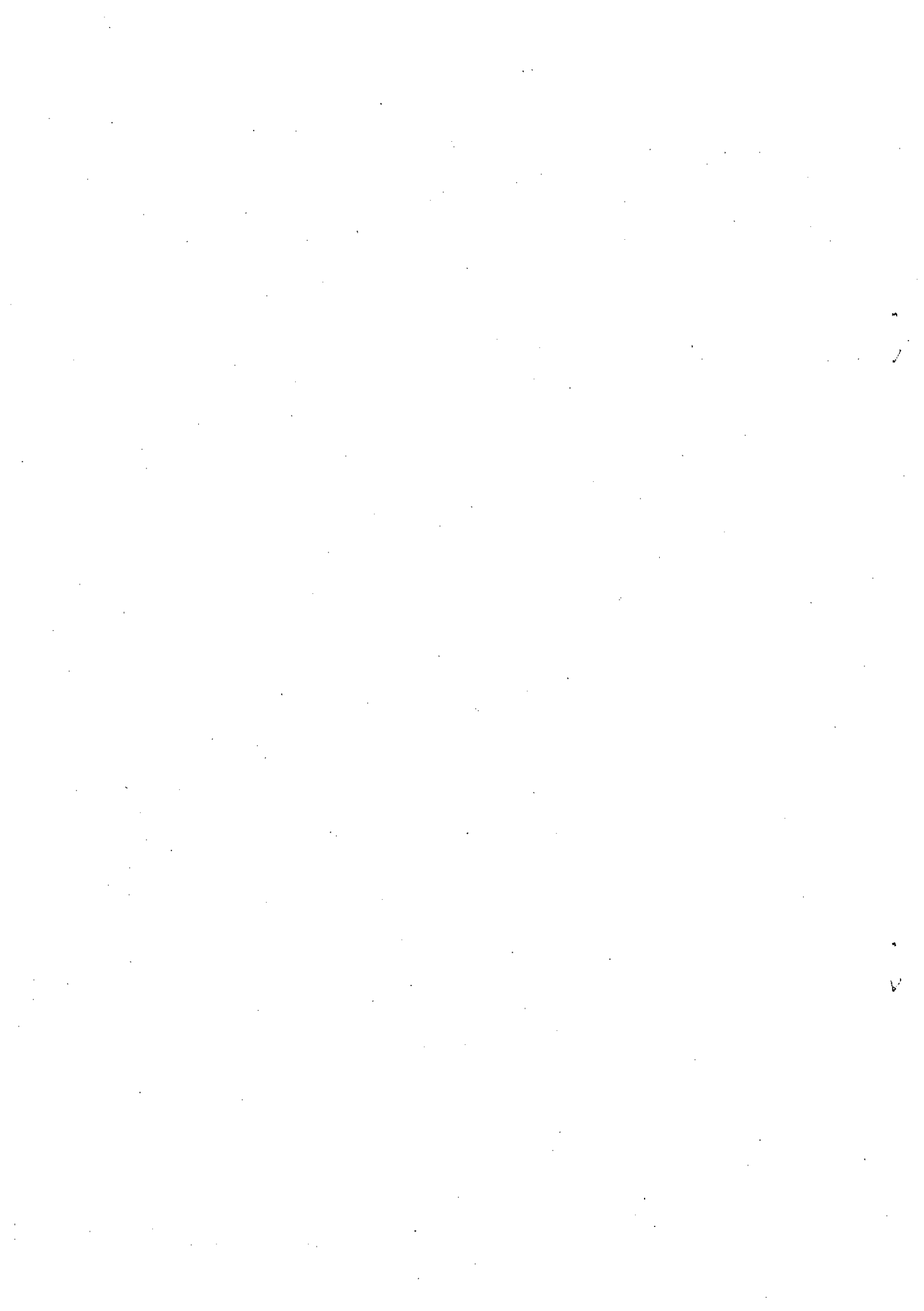
# 福祉生活病院常任委員会資料

(平成29年3月6日)

〔件 名〕

- 1 鳥取国際メタンハイドレートフォーラムの開催について  
(環境立県推進課)・・・1
- 2 「おいしい!とっとり30・10食べきり運動」について  
(循環型社会推進課)・・・2
- 3 山陰海岸ジオパークを舞台にした香港・地元高校生の交流について  
(山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館)・・・3

生活環境部



## 鳥取国際メタンハイドレートフォーラムの開催について

平成29年3月6日

環境立県推進課

3月15日(水)にメタンハイドレートに関する国際フォーラムをとりぎん文化会館で開催するので、その概要について報告する。

### 【主旨】

日本海沖の表層型メタンハイドレートについては、平成25年から3ヶ年行われた賦存量調査の結果を踏まえ、国は回収技術調査の段階に入るところである。

県では、資源開発にあたって沿岸環境への影響に留意することや海底地盤工学的な調査研究は必須と考えている。今回のフォーラムでは世界的な動向に目を向け、「環境と海底地盤」に焦点をあて、最新研究成果を全国に向けて発信する。

### 【開催概要】

- (1) 名称 鳥取国際メタンハイドレートフォーラム  
～メタンハイドレート賦存量の環境評価と海底地盤工学の最前線～  
Tottori International Forum on Methane Hydrate  
- Frontier of Environmental Assessment and Geotechnology of Methane Hydrate Fields -
- (2) 日時 平成29年3月15日(水) 9:45～17:50
- (3) 会場 とりぎん文化会館 第1会議室・第2会議室
- (4) 対象者 100名程度(MH研究者、学生、エネルギー・調査関連企業、行政等)
- (5) 主催 鳥取大学、明治大学、鳥取県
- (6) 内容 ○挨拶 知事、小川知之副学長(明治大学)  
○基調講演 松本良特任教授(明治大学)  
○招待講演(海外招聘講師4名、国内講師3名)(日本語への同時通訳)  
ナビル・スルタン(フランス海洋開発研究所)  
ブレア・ソートン(サザンプトン大学 イギリス)  
アナトリ・オブジロフ(ロシア太平洋海洋研究所)  
林曉武(ソルウッド・リン)(国立台湾大学海洋研究所)  
沼波秀樹教授(東京家政学院大学)  
戸丸仁准教授(千葉大学)  
海老沼孝郎寄附講座教授(鳥取大学)  
○閉会挨拶 松原雄平教授(鳥取大学 産学・地域連携推進機構長)  
○ポスターによる研究発表(26点 第2会議室)
- (7) 全体スケジュール
  - 3.14(火) 歓迎レセプション(ホテルモナーク)
  - 3.15(水) フォーラム(知事、明治大学、鳥取大学挨拶)、懇親会
  - 3.16(木) ワークショップ(鳥取大学) 鳥取大学・明治大学主催  
(フォーラム発表内容を掘り下げて検討する研究者による研究集会)

# 「おいしい!とっとり30・10食べきり運動」について

平成29年3月6日  
循環型社会推進課

「食品ロス」の削減活動の一環として、宴会での食べ残しを減らすことを目的に昨年12月から開始している食べきり運動の推進について、3月及び4月の歓送迎会シーズンに向けた取組を展開することとしているので、その概要を報告する。

なお、「おいしく」食べきる取組であることを強調し、今回から名称を「おいしい!とっとり30・10(さんまる・いちまる)食べきり運動」として取組を進めることとしている。

## 1 運動の概要

- ・ 歓送迎会向けのポスター及びチラシにより、企業や県民等への働きかけを行う。
- ・ 商工団体(鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会)や従業員数の多い主要企業に加え、県が出捐する財団法人等にも範囲を広げて、広く協力を要請する。
- ・ とっとり食べきり協力店(※)や鳥取県飲食生活衛生同業組合等加入店舗でのポスターやチラシの掲示のほか、イベント「みんなで始める県民エコ運動キックオフ!!」(3月18日開催)等の機会を利用して、県民に対して広く啓発を行う。

※小盛りメニューの導入など、「食品ロス」を減らす取組を実践する飲食店等として県に登録した店。

2月末時点の登録数は60店舗。

- ・ 宴会における食べ残しの実態をホームページで紹介し、食べ残し削減の効果を分かりやすく示すことにより、県民の意識醸成を図る。

### 〔宴会における食べ残しの実態〕

平成27年度食品ロス統計調査・外食調査(農林水産省)のデータを基に推計すると、宴会1食あたり(提供量約640g・8品相当)の食べ残し量は約100g(提供量の15.7%)。

参加者が20名の場合、約2kgの食べ残しが発生することとなる。

(参考) 主な調理品別の食べ残し割合

米料理: 16.1%、野菜料理: 16.3%、肉料理: 15.3%、魚介料理: 21.9%、  
デザート類: 16.8%

## 2 運動期間

3月及び4月の2か月間

### (参考)「おいしい!とっとり30・10食べきり運動」の内容

食べ残しを減らすため、宴会の幹事役をはじめ参加者に次の声かけ、行動の実践を求める。

- ・ 参加者の人数や好みに合わせた料理を適量注文すること。
- ・ 宴会開始後30分間(目安)は、できたての料理をおいしく食べること。
- ・ 大皿料理や食べきれない料理は皆で分け合うこと。
- ・ 宴会終了10分前以降は、席に着いて料理を残すことなく食べること。

# 山陰海岸ジオパークを舞台にした香港・地元高校生の交流について

平成 29 年 3 月 6 日  
山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館  
観 光 戦 略 課

米子空港便を活用して、香港ジオパークについて学んでいる香港の高校生が、山陰海岸ジオパークについて学んでいる地元高校生を訪問し、交流等を行うこととなったので、その概要について報告する。

## 1 訪問団等

### <訪問団>

羅定邦中學 (ロウティンポン中學 Law Ting Pong Secondary School) 4 年生を中心とした 25 名

※ 4 年生：当該学校は中高一貫校。日本でいう高校 1 年生に相当する。

### <地元高校生>

鳥取敬愛高等学校 1 年生 25 名

## 2 日程概要

3 月 18 日 (土)

米子空港着
宿舎 (鳥取市内) 着

3 月 19 日 (日)

宿舎 (鳥取市内) 発	
岩美町立渚交流館 (プレゼン・意見交換 ※)	鳥取敬愛高校との交流事業として実施
山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館視察	
鳥取砂丘ジオパークセンター視察	
鳥取砂丘散策	
青山剛昌ふるさと館視察	
宿舎 (米子市内) 着	

※ プレゼン・意見交換：生徒代表がそれぞれのジオパークについて英語でプレゼンテーションを行い、質疑応答・意見交換を行う。

3 月 20 日 (月)・21 日 (火) 隠岐ジオパーク視察

3 月 22 日 (水) 米子空港発→香港へ

### (参考) 香港ジオパークの概要

- ・ 国内ジオパークに認定：2009 年 (山陰海岸ジオパーク：2008 年)
- ・ 世界ジオパークに認定：2011 年 (山陰海岸ジオパーク：2010 年)
- ・ ジオパーク面積：50 km<sup>2</sup> (山陰海岸ジオパーク：2,458 km<sup>2</sup>)
- ・ ジオサイト (見どころ) 数：8 か所 (山陰海岸ジオパーク：58 か所)
- ・ トレイルコース：総延長 29 km (山陰海岸ジオパーク：総延長 64 km)
- ・ 主な見どころ

糧船灣 (High Island 西貢火山岩園区)

約 1 億 4 千万年前の火山活動により形成された六角柱状節理が広範囲にわたり露出している。

